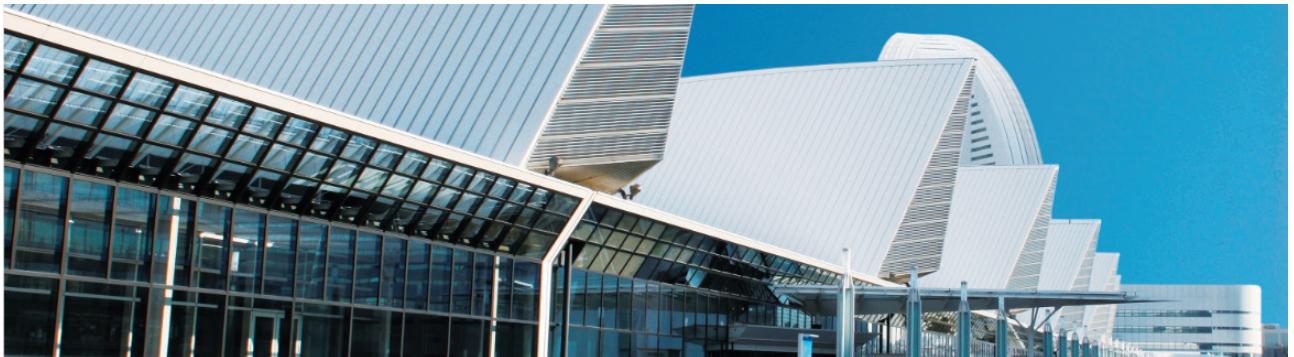


(地域ビジネスを活性化させるモデルー3)

**高品質で運用にも優れた Wi-Fi 環境を構築
(パシフィコ横浜【株式会社横浜国際平和会議場】)**

**〔事業概要〕**

外国からの来場者にも満足される通信環境をどのように提供するか。この課題にいち早く直面し、Wi-Fi環境の整備に着手しました。パシフィコ横浜では、多くの国際会議が開催され、外国からの来場者も多いため、以前からWi-Fiへのニーズが高かったのです。2013年に開催された国際会議の参加者数は、年間で21万人を超えていました。

その中には世界50カ国以上から約3700人が参加というケースもあります。このようなお客様は日本のキャリアとの契約を持っていないのが一般的です。全てのお客様に快適に滞在していただくためには、キャリアとの契約がなくても手軽に使えるWi-Fi環境を整備すべきだと考えました。

このニーズに対応するために採用したのが、シスコワイヤレスソリューションです。その選択は、Wi-Fi設備をコストとして捉えるのではなく、将来の利益につながる投資であるという考えに基づいて行われました。国際会議ではイベント会場でWi-Fiを利用したいというニーズが多数ありますが、どのようなご要望にも瞬時に対応するには、品質、安定性、セキュリティ等、様々な要件を満たす必要があります。これが可能だったのがシスコのソリューションでした。シスコのアクセスポイントは、IEEE802.11ac対応で高速で安定した通信が行うことができ、周波数帯の使い分けも動的に行えるため、電波干渉を回避しやすいという特徴があります。またPoE (Power over Ethernet) に対応しているため、敷設時に100Vの電源ラインの新設工事をする必要がなかったことも大きなメリットでした。

運用負担を軽減するワイヤレスLANコントローラによる管理性の高さも評価されています。

ワイヤレスLANコントローラでアクセスポイントを集中管理することで、運用管理の簡素化が可能になり、無線によるアクセスポイントへの不正侵入の検知や防御も行い易くなります。MICE施設のWi-Fiは、SSID等の設定をイベント別に変更する必要がありますが、アクセスポイントの集中管理によって、このような運用も大きな負担増を伴わずに実施できます。

Cisco Connected Mobile Experiences (CMX) の存在も、採用を強く後押しする要因になっています。これによってより高度な運用が可能になる上、Wi-Fiの利用状況や利用者のロケーションデー

タの収集も可能になるからです。

施設運営のプロとして、ネットワークを含む施設・設備を自らの手で構築・運用することが重要だと考えています。

3カ年計画で順次展開、最終的なアクセスポイント数は360台超に。シスコワイヤレスソリューション導入は2014年12月からスタートし、初年度（2014年度）は151台のアクセスポイントが設置されました。これらは、総面積2万平米の展示ホールやその関連諸室、展示ホールに併設するアネックスホール、ハーバーラウンジ等に展開されています。2015年度は東日本唯一の「国立」の会議場である国立大ホール、2016年度には大小約50の会議室を擁する会議センターにも設置する計画。最終的なアクセスポイントの総数は、360台を超えると見込まれています。

① サービスイメージやシステム構成



(左上)ホール入口のアクセスポイント。(左下)ホール天井・キャットウォークのアクセスポイント。(右)ホール入口から見たキャットウォーク。100Vの電源ラインが不要なため、このような場所への設置にも適しています。

② 事業展開による効果・成果

今後も続く通信データ量の増加に備えた、十分な帯域を確保できました。アクセスポイントの管理性も高く、イベント別にSSIDを変更するといった運用も、最小限の作業で行えるようになっています。

〔今後の課題と展開〕

アプリによる高付加価値サービスの提供が計画されています。

例えば会場内施設の案内や飲食クーポンの配信等を、スマートフォンで行えるアプリを提供していきます。

これによって、イベント主催者への有償サービスとして、セキュアかつ最高品質の無線サービスを提供できる環境が整備されることになります。

近い将来にはCMXも導入し、許諾を受けた利用者のWi-Fi利用状況やロケーション情報を収集、これらを活用したサービスを提供することも視野に入っています。「例えば展示会で自分がどのブースに立ち寄ったのかというデータを記録し、各ブースが電子的に配布する資料や、スマートフォンで撮影した動画や写真と組み合わせ、簡単に報告書が作成できるアプリといったものがあれば、来場者様と出展者様の双方にメリットがあると考えています。

今後は近隣地域との連携も積極的に進めていく計画です。その一環として、周辺の観光情報やクーポン配信で地域活性化につなげていくことや、横浜市が設置を進めているWi-Fiとの連携などができれば、利用者の利便性はさらに広がります。「パシフィコ横浜のWi-Fi環境を完成させた後は、“オール横浜”でWi-Fi活用を推進したいと考えています。

〔問い合わせ先〕

- ・シスコシステムズ合同会社 パブリックセクター事業
小野 裕一
〒107-0227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウンタワー
- ・電話：03-6434-6399 携帯：080-4156-7277
- ・e-mail：yuono@cisco.com